



勝林寺寺報

お正月には毎年多くの人たちが帰省し、故郷で懐かしい顔と再会し、おいしいごちそうに囲まれながら、煩わしい日常から解き放たれて、のんびりとコタツに入つてみかんを食べながら過ごします。勝林寺でも私の姉の家族、長女の希里と次男の入海が帰ってきて、楽しいお正月を迎える予定でしたが、今年はそれぞれ京都、大阪、滋賀にとどまり、帰ることができません。帰りたくても帰れない、なんとも不自由な事態です。

る回りながら自然と年を取っていく。仏さまたちは私たちに色を変え、形を変えながら、さまざまのめぐり合わせをもって自然のありようを教えているのです。私たちの命もまた自然のありようの一つとして、先に往つた命が必ず仏の呼び声としてお念佛の中に還つてくるのです。

今年は昨年以上に社会の変動が予想されま

す。どんな状況の中でも、私の帰る本当の家は阿弥陀様のお家なのだと、お念佛の中に聞かせていただきましょう。（文責 住職）

正信偈も、四句ずつ読み進んでまた冒頭の“帰命無量寿如来”に還る。“カエル”にも“帰る”と“還る”とがあって、“返る”もありますので、日本語は難しいです。

成人式もじめいわこわ

七高僧の一人、中国の善導大師が「帰去来、魔鄉には停まらべからず。曠劫よりこのかた六道に流転して、ことごとくみな経たり。到るところに余の楽しみなし。ただ愁歎の声を聞く。この生平を畢へてのち、かの涅槃の城に入らん」と観經疏という本のなかで書かれたものを、親鸞聖人が教行証文類の証卷に引用されています。「帰去來（いざくなん）」とは、「さあ帰らう」ということです。この私たちが生きる娑婆世界を早く離れて、淨土へ生まれようと勧められているのです。また善導大師は「帰去來、他郷には停まらべからず」とも表現されてます。人生いろいろ、樂しいこともあり悲しい

出石町坪口	中島亜美様	(武志様)
鍛治屋	中川 仁様	(信様)
但東町栗尾	大月慧梧様	(辰男様)
正法寺	数森祥吾様	(好章様)
小谷	澤田享子様	(貞彦様)
八鹿町上小田	宮薦剛史様	(義明様)
上小田	齋藤愛奈様	(義弘様)
齋藤エリカ様	(バソリ様)	
田中亮汰様	(達夫様)	

越後守

令和三年元日	正月賀		正月
事務局	会計	横山 誠	関川一男
顧問	浜川厚志	山田輝幸	一六日(土) 勝林寺 代議
仙婦会長	岩上 悟	一七日(日)	榎見 報恩講
副会長	永井正人	一八日(月)	榎見 報恩講
齋藤洋子	二二日(木)	一九日(火)	勝林寺 代議
齋藤典子	二三日(金)	二四日(水)	榎見 報恩講
	濱 嘉子宅 己	勝林寺 仏壯	勝林寺 代議

事務局	會計	六日（土）	勝林寺 代議員会
顧問	關川一男	七日（日）	榎見 報恩講
仏婦會長	横山誠	八日（月）	榎見 報恩講
齋藤洋子	山田輝幸	九日（火）	榎見 報恩講
永井正人	渋谷厚志	（木）	勝林寺 代議員会
二三日（金）	岩上悟	（火）	勝林寺 代議員会
濱嘉子宅	二日	（水）	勝林寺 代議員会
忌明法	三役	（木）	勝林寺 代議員会

要会

A detailed line drawing of a fossilized trilobite specimen, showing its segmented body, head, and appendages.

坪木文子	二四日(日)	正福寺前住職 忌明
村田元子	二六日(火)	みのりを聞く会
石田輝美		
平野睦美	二八日(木)	勝林寺 仏壯 役員
湯口博文	三〇日(土)	兼井通仁宅 忽明法
事務局		
法輪会会长		
会計		

法
制
烟
饼

法輪會會長 事務局 會計 世話人

岸下菊美	湯口博文	平野睦美	石田輝美
平野睦美	湯口博文	三〇日（木）	二八日（木）
平野睦美	湯口富雄	三一 日（土）	三〇日（土）
平野睦美	湯口富雄	澤田善男宅	勝林寺 仏壯
平野睦美	湯口富雄	高橋明法	役員

烟叶税

敬称略

少林寺傳聞記

一月
勝林寺
予定

勝林寺 住職	西池匡紹	一月(金)	元旦
坊守	西池美幸	四日(月)	但東方面 年始
後継住職	西池深音	六日(水)	勝林寺 会計監査
寺族	西池希里	西池入海	中嶋英樹
責任役員	西池希望	九日(土)	大石英明宅 一周忌
総代会長	稻葉保夫	勝林寺 総代会	
総代	田中重雄	一日(日)	坪口 報恩講
永井正人	湯口博文	二日(月)	坪口 報恩講
足立幸夫	坂本智	二日(火)	坪口 報恩講
齋藤清忠	山田博文	三日(水)	和屋・出石A 報恩講 午後
会計監査	坂本智	四日(木)	出石B 報恩講 午後
仏社会長	坂本智	五日(金)	出石C 報恩講
副会長	永井 實	六日(土)	勝林寺 代議員会
会計	関川一男	七日(日)	榎見 報恩講
事務局	横山 誠	八日(月)	榎見 報恩講
顧問	山田輝幸	九日(火)	榎見 報恩講
仏婦会長	渋谷厚志	二日(木)	勝林寺 仏社 三役会
副会長	岩上 悟	三日(金)	濱 嘉子宅 忌明法要
会計	永井正人	四日(土)	成田里美宅 忌明法要
事務局	斎藤洋子	五日(日)	正福寺前住職 忌明法要
法輪会会長	齋藤典子	六日(火)	みのりを聞く会
世話人	藤山文子	七日(木)	
会計	坪木文子	八日(木)	勝林寺 仏社 役員会
事務局	村田元子	九日(木)	湯口宣文宅 忌明法要
平野睦美	石田輝美	十日(木)	澤田善男宅 忌明法要
湯口宣文	湯口宣文	十一日(木)	
平野睦美	湯口宣文	十二日(木)	
岸下菊美	坂本 嘉子	十三日(木)	
浜 嘉子	坂本 嘉子	十四日(木)	
顧問		十五日(木)	



